

改訂日 2021 年 09 月 8 日(第 15 版)

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	サイハロン® 水和剤 (シハロトリン水和剤)
会社名	シンジェンタジャパン株式会社
住所	〒104-6021 東京都中央区晴海 1 丁目 8 番 10 号オフィスタワーX 21 階
担当部門	HSEグループ
電話番号	03-6221-1027
E メールアドレス	SDS-JP@syngenta.com
緊急連絡先	同上
推奨用途及び使用上の制限	殺虫剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分 4
	急性毒性(吸入)	区分 4
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2B
	皮膚感作性	区分 1
	発がん性	区分 1A
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 1
環境に対する有害性	水生環境有害性、短期(急性)	区分 1
	水生環境有害性、長期(慢性)	区分 1

* 記載がないものは「区分に該当しない(分類対象外を含む)」または「分類できない」

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

飲み込むと有害

吸入すると有害

目刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

発がんのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器系、免疫系、腎臓)

水生生物に非常に強い毒性

注意書き

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手する。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用する。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しない。
 屋外又は換気の良い場所でだけ使用する。
 取扱い後は手をよく洗う。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。
 汚染された作業衣は作業場から出さない。
 環境への放出を避ける。

【応急措置】

飲み込んだ場合:気分が悪い時は医師に連絡する。口をすすぐ。
 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受ける。
 皮膚に付着した場合:多量の水と石鹼で洗う。
 皮膚刺激又は発疹が生じた場合:医師の診察/手当てを受ける。
 特別な処置が必要である。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師の診察/手当てを受ける。
 気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受ける。
 漏出物を回収する。

【保管】

施錠して保管する。

【廃棄】

内容物や容器を廃棄する場合は、国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物
 化学名【一般名】 (RS)-α-シアノ-3-フェノキシベンジル=(Z)-(1RS,3RS)-3-(2-クロロ-3,3,3-トリフルオロプロペニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート【一般名:シハロトリン】

成分	含有量(%)	化学式	官報公示整理番号	CAS番号
シハロトリン	5.0	C ₂₃ H ₁₉ ClF ₃ NO ₃	4-(7)-1496	68085-85-8
鉱物質微粉、界面活性剤等	95.0	—	—	—
(石英)	(30)	SiO ₂	1-548(化審法)	14808-60-7

(非晶質シリカ)	(10)	SiO ₂ ・nH ₂ O	1-548(化審法)	7631-86-9
----------	------	-------------------------------------	------------	-----------

4. 応急措置

一般的アドバイス	緊急連絡先、中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、製品容器、ラベル、安全データシートを手元に用意する。
吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移す。呼吸をしていない場合や呼吸が不規則な状態である場合、人工呼吸を施す。保温・安静に努め、直ちに医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類を脱ぐ。直ちに多量の水を用いて洗い流す。皮膚の炎症が継続する場合は、医師の診察を受ける。汚染した衣類は再使用する場合には洗濯する。
眼に入った場合	直ちに多量の水で15分以上まぶたの内側も含め洗う。コンタクトレンズを外す。医師の診察・手当を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに医師の診察を受ける。ラベル又はこのデータシートを医師に示す。無理に吐かせない。
医療関係者への情報	特定の解毒剤は報告されていない。対症療法を行う。本剤はピレスロイド系殺虫剤である。けいれんに対してはメカルバモール、ジアゼパム等の投与が有効であると報告されている。唾液分泌過多に対してはアトロピンの投与が有効であると報告されている。

5. 火災時の措置

消火剤	小規模火災時： 噴霧放水、耐アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	大規模火災時： 噴霧放水、耐アルコール性泡消火剤 棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、行っ てはならない。
特有の危険有害性	可燃性有機成分を含有するため、火災時に有害物質を含む黒煙が発生 するおそれがある。「10. 安定性及び反応性」参照） 分解生成物は健康に害を及ぼす可能性がある。
消防士へのアドバイス	
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
詳細情報	消火水を排水路や水路に流出させない。 火にさらされた密閉容器は散水して冷却する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	「7. 取扱い及び保管上の注意」および「8. ばく露防止及び保護措置」に記 載の措置を行い、保護具を着用する。
環境に対する注意事項	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい又は漏出を防ぐ。 地表水や下水システムに排水しない。

封じ込め、浄化の方法及び機材
 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関係当局に連絡する。
 漏出物を封じ込めて防爆型の掃除機または湿ったブラシで集め、容器に入れ、地域/国の規制に従って廃棄する(「13.廃棄上の注意」を参照)。
 汚染面を十分に浄化する。
 洗剤で拭く。ただし溶剤は避ける。
 汚染された洗浄水を保管し、処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
 ・個人用保護具に関する情報については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照する。
 ・火災に対する特別な保護対策は必要ない。
 ・眼や皮膚への接触や吸入を避ける。
 ・作業は換気のよい場所で行う。
 ・取扱い時には飲食、喫煙をしない。

保管
 ・特別な保管条件は必要ない。
 ・換気のよい冷暗所で、密封出来る容器に入れて鍵をかけて保管する。
 ・小児の手の届かない所に保管する。
 ・食品や飲料、飼料と区別して保管する。
 ・盗難、紛失の際は警察に届け出る。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策
 ・ばく露が避けられない場合、放出源を密閉および／または隔離する。
 ・保護対策の範囲は、使用時のリスクによって異なる。
 ・空気中の濃度をばく露限度以下に保つ。
 ・必要に応じて、労働衛生関連追加情報を求める。

管理濃度
 TWA 値(シンジェンタ社) シハロトリン 0.4mg/m³ (8hr、皮膚)

許容濃度
 日本産業衛生学会 第3種粉塵 2mg/m³ (吸入性)
 8mg/m³ (総粉塵)

ACGIH 10mg/m³ (TLV-TWA)

保護具
 呼吸器用の保護具 防塵マスク
 手の保護具 不浸透性手袋
 眼の保護具 ゴーグル型保護眼鏡
 皮膚及び身体の保護具 耐薬品性エプロン、もしくは不浸透性の衣類、ゴム長靴 等

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 粉末

色	類白色
臭い(閾値)	データなし
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
見掛け比重	0.40
密度	データなし
蒸気圧	データなし
pH	7.5(20%水懸濁液)
動粘性率	データなし
オクタノール/水分配係数	シハロリン: log Pow = 6.9 (20°C)

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の条件下では安定。
反応性	通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	データなし。
避けるべき条件	データなし。
混触危険物質	データなし。
危険有害な分解生成物	通常の条件下では生成しない。 加熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性	経口 LD50 ラット(14d)	520 mg/kg (♂) 670 mg/kg (♀)
	経皮 LD50 ラット(14d)	>2000 mg/kg
	吸入 LC50 ラット	シハロリン原体の試験結果から LC50 推定値が 1.0 < LC50 ≤ 5mg/L の範囲内となることから区分 4 とした。
皮膚腐食性/皮膚刺激性	ウサギ(7d)	皮膚刺激性なし。
眼に対する重篤な損傷性/目刺激性	ウサギ(7d)	軽度の眼刺激性。 刺激性が認められたが、7 日以内に回復。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	モルモット(48hr)	軽度の感作性あり。

ビューラー法

慢性毒性	シハロリンは動物実験で発ガン性、催奇形性、変異原性を示さなかった。
発がん性	区分 1A に分類される石英(シリカ)を濃度限界の 0.1%以上含有しているので区分 1A とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 1 に分類される石英(シリカ)を濃度限界の 10%以上含有しているので区分 1(呼吸器系、免疫系、腎臓)とした。

12. 環境影響情報

生態毒性		
魚毒性	LC50 コイ(96hr)	0.61 µg/L(原体換算値)
甲殻類毒性	EC50 オオミジンコ(48hr)	0.014 mg/L
		急性遊泳阻害試験
藻類毒性	ErC50 緑藻(0~72hr)	>100 mg/L
	EbC50 緑藻(0~72hr)	>100 mg/L
		生長阻害試験
水生環境慢性有害性	データなし。	
残留性・分解性		
生分解性	データなし。	
生体蓄積性	生体内蓄積しない。	
土壤中の移動性		
環境中の分布	データなし。	
土壤中の安定性	難分解性。	

13. 廃棄上の注意

注意事項	<p>廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。</p> <p>廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。</p> <p>空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後に適切に処分する。</p>
------	--

14. 輸送上の注意

国際規制	
陸上輸送	
・国連番号	UN3077
・国連輸送名	環境有害性物質(固体)、N.O.S. (シハロリン)
・国連分類	9
・容器等級	III

・ラベル	9
・環境有害性	該当
航空輸送	
・国連番号	UN3077
・国連輸送名	環境有害性物質(固体)、N.O.S. (シハロリン)
・国連分類	9
・容器等級	III
・ラベル	9 その他有害物件
・梱包指示(貨物機)	956
・梱包指示(旅客機)	956
・梱包指示(少量輸送 許容物件)	Y956
・環境有害性	該当
海上輸送	
・国連番号	UN3077
・国連輸送名	環境有害性物質(固体)、N.O.S. (シハロリン)
・国連分類	9
・容器等級	III
・ラベル	9
・EmS コード	F-A, S-F
・海洋汚染物質	該当
輸送時の安全対策	運搬に際しては、容器に破損、漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。直射日光、風雨に直接ばく露しない状態で輸送する。 毒物及び劇物取締法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

農薬取締法	登録番号 第 17009 号
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
シリカ(石英)	法第 57 条の 2 表示・通知義務対象物
毒物及び劇物取締法	
シハロリン	劇物:第 2 条

16. その他の情報

記載内容の取扱い	製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。 この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅され
----------	--

ているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の目的への適合性を判断し、この安全データシートや製品ラベルに記載のものを含め、実状に応じたあらゆる適切な予備的措置を講じてください。当社のいかなる保証違反においての責任は、製品の交換又は購入額の払い戻しに限られます。当該製品を取扱う事業者が、上記の適切な予備的措置を講じなかった場合、シンジェンタは責任を負いません。

問合せ先

担当部門

電話番号

HSEグループ

03-6221-1027

中毒の緊急問合せ先

財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民向け受信相談 (情報料無料)	医療機関専用有料電話 (1 件につき 2000 円)
大阪 (365 日、24 時間)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9-21 時)	029-852-9999	029-851-9999

サイハロン®はシンジェンタ社の登録商標です。